

オープニングアトラクション

えっちゅういさみたいこほぞんかい 越中いさみ太鼓保存会 (砺波市)

越中いさみ太鼓保存会は、およそ900年前、現在の富山県砺波市野村島鎮守、桑野神社の神事に起因し、御神体安置の際に打ち鳴らされたのが始まりと伝えられています。

昭和27年に、この太鼓を復活させ、富山県では最初の「保存会」を結成し、活動を始めました。県内外に数多くの出演をしてきており、令和4年には保存会結成70年を迎えることができました。

基本となる演奏は笛と地方(じかた)に合わせて打ち込む北陸特有の曲打ち太鼓ですが、近年は古来のいさみ太鼓の伝統を基盤に、時代感覚を取り入れた新しいスタイルの曲も演奏しています。

